柳瀬川回廊周辺のおもな植物

←**【ヒロハノアマナ】**（ユリ科）
日当たりのよい林や草地に生える多年草。日本全体で見ても珍しい種類で、チューリップの原種と近縁。葉の中央に白い帯が入る。
［花期：３月］

【キツネノカミソリ】（ヒガンバナ科）→
雑木林のへりや中に生える多年草。全体の形や生活のしかたはヒガンバナによく似る。
［花期：７～９月］

↑**【カタクリ】**（ユリ科）
春の陽ざしを受けて雑木林の林床に咲くカタクリの花。
北向きの傾斜面に多い。
［花期：３月（下）～４月（上）］

【アオイスミレ】（スミレ科）→
林の中の湿り気の多いところに生える多年草。スミレの仲間では最も開花が早い。花後に葉は大きくなり、花時とは別種のように見える。
［花期：３月～４月］

←**【ヒガンバナ】**
（ヒガンバナ科）
川の土手など人里近くに生える多年草。毎年、秋の彼岸のころ、赤い大型の花を咲く。
［花期：９～１０月］

↑**【イチリンソウ】**（キンポウゲ科）
温帯の落葉広葉樹の林床に咲く。花の直径は約４㎝。花びらのように見えるのはがく片で、花びらはない。１本の茎に１個のはながつくのでこの名がある。［花期：４月～５月］

【イカリソウ】（メギ科）→
林内に生える多年草。高さ２０～４０㎝になる。葉は左右非対称で、ふちにはとげ状の毛がある。名前は、その花の形による。
［花期：４～５月］

←**【スイセン】**
（ヒガンバナ科）
早咲きものは「日本水仙」「房咲水仙」など。きれいな花の姿と芳香がまるで「仙人」のようなところから命名された。［花期：１２～４月］

←**【タチツボスミレ】**
（スミレ科）林のへりや中などで最もふつうに見られるスミレである。花はふつう淡紫色であるが、変化が多い。
［花期：４月～５月］

←**【ムラサキケマン】**
（ケシ科）
林のへりなどのやや湿ったところに生えるごくふつうの越年草。全体にやわらかく折れやすい。
［花期：４月～６月］

←**【コナラ】**（ブナ科）
クヌギとともに雑木林の主要な木で、ナラといえばこの木をさす。花はクヌギによく似るが、実（どんぐり）が熟すのは開花した年の秋である。［花期：５月］

【クヌギ】（ブナ科）→
むさし野の雑木林を構成する代表的な樹木。実（どんぐり）は、開花の翌秋に熟す。
［花期：５月］

【セントウソウ】（セリ科）→
林の中に群生し、春早くから開花する。花時には高さ１０㎝くらいしかないが、花後には大きくなる。
［花期：３月～５月］